



「植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会を開催

世界初! ブラインドセーリングによる太平洋無寄港横断

7月25日、日高文化体育館で、第24回となる「2019植村直己冒険賞」授賞式・記念講演会が開催されました。受賞者の岩本光弘さん(アメリカ・サンディエゴ在住)は230人の市民らの前で、ヨットを始めたきっかけ、二度の太平洋横断挑戦で得たことや、一步踏み出す勇気を持つことの大切さについて語りました。

《問合せ》生涯学習課 ☎23-0341

挑戦のきっかけ

岩本さんは熊本県天草市の出身、生まれつきの弱視で、16歳で全盲になりました。日常生活の困難さから「一度は自殺も考えた」という岩本さん。そんな岩本さんが前を向くきっかけとなったのは伯父の「お前が見えなくなったことにも意味がある」という一言だったそうです。

困難を乗り越え、できることを増やすことで自信を付け、進学やアメリカ留学など、あらゆることに挑戦するように



なりました。そんな岩本さんとヨットの出会いは筑波大学付属盲学校(現筑波大学付属視覚特別支援学校)の教員時代。ある日自宅近くの千葉県稲毛マリナーのレンタルヨットの存在を知ったとき、中高時代ヨットをしていた奥さんに勧められるまま、小型のヨットを借りて海に出てみたのがきっかけだそうです。その時は、心の準備も追いつかず「ひっくり返るのではないかと楽しむどころではなかったそうです。しかし、そのマリナーで、障害者と健常者が共にヨットを楽しむコンセプト

のクラブと出会い、初回のセーリング経験とは180度変わり、セーリングができる週末が待ち遠しくなるぐらい熱中するようになりました。

二度の絶望

「今回の講演で成功を自慢するのではなく、二度の絶望を皆さんに知ってもらいたい」と語り始めた岩本さん。

一度目の絶望は全盲になり自殺を考えた時。しかしそんな絶望の中「歯ブラシに歯磨き粉をつけることができた」ことを機に少しずつ自信をつけたと岩本さんは語りました。二度目の絶望は2013年、太平洋横断に失敗したとき。世間からの大バッシングで外出できないほど憔悴したそうです。その絶望から救ってくれたのは植村直己さんの著書「青春を山に賭けて」だったそうです。

やらない理由でなく、やる理由が大事

「どんな小さなことでもい

い、自分にとって新しいことに挑戦することが大切なんだ」と思い直した岩本さん。その時、かつて伯父が言ってくれた一言を思い出したそうです。「困難や失敗にも必ず意味がある、一度目の太平洋横断でクジラにぶつかって失敗したことにも意味がある」。そのことを胸に二度目の太平洋横断に臨んだそうです。

来場者に対して「やらない理由を考えるのではなく、やる理由を考えて」とメッセージを送りました。



▲演題は「夢に向かって一步踏み出せ～二度の太平洋横断から得たもの～」

※掲載している情報は編集時点(8月12日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。



▲マリンジャーナリスト会議が選ぶ「MJCマリン賞、2020大賞」の授与もこの場を借りて行われました。



▲新型コロナ対策で、客席の間は大きく距離を取りました。

植村直己冒険館南側に新施設来春オープン 「夢にチャレンジする施設」愛称募集



植村直己冒険館に新しい施設が設置されます。新施設は、植村直己さんのチャレンジ精神を学び、一人一人の「やってみたい」を応援する施設です。施設内には大型ネット遊具があり、クライミングやツリーイング、もの作り体験ができて、泊まれて遊べるミュージアムに生まれ変わります。また屋外では、キャンプやバーベキュー、火おこしなど世代ごとに楽しめる体験プログラムを充実させます。さまざまなチャレンジが詰まった新施設にすてきな愛称をつけてください。

▼**応募方法** 専用ホームページ、ファクス、または郵送で応募してください。次の事項が必要です。①ネーミング案②ネーミング案の読み方③命名の理由④郵便番号・住所⑤氏名(よみがな)⑥性別⑦年齢⑧電話番号⑨メールアドレス(お持ちの方のみ)

▼**募集期間** 8月25日(火)～9月20日(日) ※当日消印有効

▼**応募資格** 年齢、性別、国籍を問いません。誰でも応募できます。

※掲載している情報は編集時点(8月12日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。

▼**選考・発表** 選考は市の同意を得て決定し、10月(予定)植村直己冒険館ホームページ等で発表します。

▼賞品

▽採用賞 1人 冒険館年間パスと記念品
▽応募賞 30人 植村直己冒険館ポストカード

▼その他

▽すでに商品化または名称登録されていないものとします。

▽名称に係る委細の権利は市に帰属するものとします。

▽本応募でいただいた応募者の個人情報は、市が管理し、この名称に関する業務のみに使用します。

《問合せ・応募》豊岡冒険館(株)〔アドバンス(株)内〕担当：宇都宮・岡本

〒669-5372 日高町栗栖野60番地 ☎45-1545、ファクス45-1546、メールinfo@boukenkan.com

▶右の2次元バーコードから応募フォームにアクセスできます。

豊岡冒険館(株)は冒険館運営予定会社です。

